

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和8年9月定例会	
議案番号 議案名	認定第1号 令和7年度松戸市一般会計歳入歳出決算の認定について 認定第2号 令和7年度松戸市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について 認定第3号 令和7年度松戸市松戸競輪特別会計歳入歳出決算の認定について 認定第6号 令和7年度松戸市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について 認定第7号 令和7年度松戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について 認定第8号 令和7年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 認定第9号 令和7年度松戸市相模台地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について 認定第10号 令和7年度松戸市水道事業決算の認定について 認定第11号 令和7年度松戸市病院事業決算の認定について
議員名・会派名等	岩瀬麻理 公明党
賛否態度	賛成
賛否など態度決定に至った理由や討論	みなさま、おはようございます。公明党の岩瀬まりです。会派を代表し、今定例会に上程されております認定第1号から認定第12号まで、賛成の立場で討論いたします。 令和7年度の社会情勢を振り返りますと、7月には賃上げ率が5.25%と34年ぶりの高水準となりました。株価が5万円台を突破するなど、国の政策運営や市場環境にも大きな変化が生じた一年でした。 しかしその一方で、物価上昇が賃金の伸びを上回り、実質賃金は前年度比でマイナスが続きました。多くの家庭では賃上げの効果をも十分に実感できず、家計の負担感が解消されない状況が続いたことも、重要な課題として浮き彫りに6なりました。 松戸市が令和7年8月に示した「財政運営の基本方針」では、財政調整基金が令和3年度の157.2億円から令和6年度には80.7億円まで減少し、経常収支比率も87.9%から96.2%へ上昇するなど、財政構造上の課題が明らかにされています。 また、大型事業に加え、物価高騰による事業費や人件費の増加、国民健康保険特別会計や、総合医療センターへの補てん的な繰出金など、今後の財政運営に影響を及ぼす要因も示されています。

令和 7 年度決算では、実質単年度収支の赤字が約 2 億円にとどまり、基本方針策定時の約 21 億円の赤字見込みから大きく改善しました。

一方で大型事業の実施時期の整理により、小中学校の長寿命化が懸念される事態となり、千葉豪雨では小学校 40 校、中学校 9 校の体育館の雨漏りがありました。学校の長寿命化及び街づくりの行うべき投資は行っていたかなくてはなりません。

これらを踏まえて、決算審査にあたっては財政の健全化と将来的な投資などの視点を持ち、さらに市民生活を守るために事業が執行されたか、との観点から審査にあたりました。

令和 7 年度から導入した経常的経費の枠配分方式については、各部局が限られた財源の中で事業の必要性や優先順位を見直し、自ら予算をマネジメントする意識が高まったこと、経常的経費の伸びを一定程度抑制出来たことが示されました。こうした改善は評価したいと思いますが、重要なのは、この成果を一時的なものに終わらせず、継続的な財政健全化につなげていくことです。

今後は、枠配分方式をさらに実効性のあるものとし、事業の必要性・効果・優先順位を不断に検証するとともに、歳入確保策についても積極的に取り組むことを要望します。

また、大型事業については、市民生活への影響や将来世代の負担を十分に考慮し、事業費や実施時期を適切に管理していただきたいと思います。

さらに、財政調整基金や実質単年度収支、経常収支比率などの財政指標について、目標と実績、改善状況を分かりやすく市民に示し、透明性の高い財政運営を進めることを強く求めます。必要な投資を着実に進めながら、将来にわたり安定した行政サービスを維持できる、持続可能な財政基盤の構築を期待します。

それでは、令和 7 年度一般会計事業から主な賛成理由及び意見を申し上げたいと思います。

始めに総務費です。

公共施設インターネット予約システムでのオンライン決済導入では庭球場など無人施設の利用料を窓口に行かずに支払えるようになり、「本当に便利になった」と多くの声をいただいています。一方で、キャンセル時に「口座振込依頼書の提出」が必要である点は、さらなる改善の余地があります。

デジまつ・LINE 連携です。提供開始に向けて順調に準備が進みました。スマホ操作が苦手な方でも使いやすい、分かりやすいデジタルサービスとなるよう期待します。

防犯カメラの設置ですが、通学路を中心に設置が進み、今後は 5

力年で市内防犯カメラの設置を 1,000 台目標とする方針を伺っています。犯罪抑止だけでなく、子どもや高齢者の見守りにもつながる重要なインフラです。今後も適切な運用体制の強化をお願いします。

生理用品の配布についてです。

生理用品の配布が昨年度より 163 パック増加したことは、支援を必要とする女性の存在を可視化し、行政の取組が確実に届いていることを示す重要な指標です。また、相談窓口のチラシを同封する取り組みは、単なる物品提供に留まらず、支援につながる「入口」を広げる極めて有効な施策です。

生理の貧困は、孤立や健康不安とも密接に関わる課題です。誰もが安心して声を上げられる環境づくりのため、引き続き丁寧で継続的な支援を推進していただくよう強く要望いたします。

次に民生費です。

ヤングケアラー支援についてですが、新規相談 23 件のうち 13 件が虐待対応を行っている家庭の状況から把握されたケースであり、実態把握が進んでいると感じます。今後とも教育・医療・福祉・介護など関係機関との連携強化、アウトリーチの推進をよろしくをお願いします。

次に衛生費です。

がん患者支援事業についてですが、治療に伴う経済的・生活上の負担を軽減するため、必要とする方にウィッグ・補整具購入費助成が着実に届いています。今後も長期治療や就労との両立支援の必要性が高まります。制度の周知強化と浮腫患者対策を含めて、対象の拡充を進めていただきたいと考えます。

5 歳児健康診査ですが、子どもの発達特性を早期に把握し、入学前に準備期間を設けることは、保護者・学校・医療機関の連携を強化し、子どもに合った支援につながります。早期実施に向けた取り組みを強く求めます。

子宮頸がんワクチンですが、9 価ワクチンは 15 歳未満で接種開始すれば「2 回で完了」できる利点があります。

中学 2 年生への個別通知を追加し、確実に情報を届ける体制を整えることを強く要望いたします。

次に土木費です。

冠水情報板改修工事については、今回の改修により、冠水危険箇所への注意喚起がより確実に行えるようになり、市民の安全確保に大きく寄与していることを評価いたします。エアー遮断機は千葉豪雨や台風 25 号の水害に大きく寄与しています。

排水ポンプの排水能力の向上や、アンダーパス内の道路情報監視カメラの設置は、豪雨時の迅速な状況把握と事故防止に不可欠な対策です。

さらに、市民への情報伝達をより確実なものとするため、アンダーパスの位置情報、エアー遮断機の設置状況とその効果、冠水しやすい道路の特徴などを、防災マップ等にわかりやすく記載し、周知を徹底していただくことを強く要望します。

また市外在住でハザードマップを見ていない方にも、危険を知らせることができるような対策をご検討ください。

常盤平駅周辺まちづくりです。

常盤平には「この街が好きで住み続けたい」と語る若い世代がいます。地域資源を最大限に生かし、URや民間とも連携しながら、若い世代の声を反映した市外地整備の推進をお願いします。

一時使用自転車駐車場の混雑状況可視化ですが、キャッシュレス化、24時間手続き、混雑状況の可視化により、利便性の向上が図られました。放置自転車の解消にも寄与する重要な取り組みであり、今後も利用者目線の改善を期待します。

市内公園防犯カメラ設置ですが、「安心して公園を利用できる」との声が寄せられています。今後も、防犯カメラの設置を計画的に進めていただき、地域の安全性向上と見守り体制の強化を図っていただくようお願いします。

次に消防費です。

ドローンの活用状況です。運用認定者が27名まで育成され、今年度も20名規模の育成を計画するなど、体制強化が進んでいます。上空からの映像は救助判断を迅速化し、二次災害防止にも極めて有効です。

119番 映像通報システムです。

スマートフォンのビデオ機能を活用したGPSによる迅速な場所特定など、実際に救助につながる成果が出ています。隊員の皆様の安全確保にも配慮しながら、今後も人材育成と最先端技術を活用した、迅速な救助体制の整備を、推進していただくことを期待します。

分散備蓄倉庫ですが、市内には65校の小中学校があり、災害時にはそれぞれが地域の避難所として機能します。拠点倉庫だけでなく、これら分散備蓄倉庫にも子ども用・大人用のおむつを備蓄していただきたいと強く要望いたします。

また、かねてより我が会派で要望してきた災害時における子育て世帯の安心につなげるため、赤ちゃんの液体ミルクが今年度調達

できるとのことでした。今後も市民の命を守るために、万全を尽くしていただくようお願いします。

また9月の千葉県議会において、避難所への防災倉庫設置も、補助対象に加えるとの前向きな答弁があったことから、本市県立高校への分散備蓄倉庫の設置について、前向きにご検討いただきたいと要望いたします。

次に教育費です。

給食システムは児童生徒のアレルギー情報を学校全体で確認できるようになり、見落としを防ぐ仕組みが整えられました。

そして、令和7年度の給食費無償化については、当初1学期のみであったものを国の地方創生臨時交付金を活用して、3学期まで延長していただいたことを評価しています。今後ともご努力のほどお願いします。

体育館空調設備設置工事費は、当初予算額85億6千万でしたが、執行額が59億2千万となり約30億3千万の削減となりました。屋内機を天井(てんじょう)吊形(つりがた)から、床置形(ゆかおきがた)へ見直した結果とのことでした。熊本地震では真夏の暑い時期に空調機の設置されていない体育館に避難を強いられているなか、本市においては市内全小中学校に空調機の設置がされたことを評価いたします。

以上一般会計決算について申し上げました。

続きまして、特別会計決算並びに事業会計決算について申し上げます。

まず介護保険特別会計ですが、要介護認定期間が約3日短縮し、調査員増員や委託の工夫により着実な改善が進んでいます。

2027年改正では申請代行の拡大や主治医意見書の電子化など認定審査の進め方が大きく見直されます。本市の安全・安心な認定審査の運営が一層進むことを期待いたします。

補聴器購入費助成です。高齢者の「聞こえの不安」は認知症リスクにも直結します。補聴器の普及は健康寿命の延伸に不可欠です。引き続き普及啓発・早期発見・早期受診を推進いただくようお願いします。

次に松戸市病院事業会計です。令和7年度の経常損失は約31.6億円で、前年度から約9.6億円改善し、計画見込みを達成しました。

二次救急応需率向上や、集中治療系病床の稼働率改善による、約11.6億円の増収、経費削減や補助金確保等の経営改善策が着実に成果を上げている点の評価します。

一方で依然として巨額の赤字構造にあり、早期退職者増加による

	給与費増加、材料費高騰が経営を圧迫しています。 病床数の適正化、空きスペースの有効活用など構造改革を加速し、費用適正化と患者確保を進めてください。 また令和 8 年度目標の経常損失約 18 億円の達成、令和 11 年度の一般会計基準内繰入に向け、安定した経営基盤の確立をしていかなければなりません。 病院事業の費用削減とあわせて、生命を守る最後の砦としての病院の医師・看護師の質の確保、医療の質向上を強く要望します。 以上縷々(るる)述べましたが、令和 7 年度の一般会計、特別会計、事業会計ともに概ね(おおむね)妥当なものと判断し賛成いたします。 最後に決算審査にあたり、執行部の皆様の真摯な対応に対し感謝申し上げます。共々に市民の皆さまの安全と安心を守り、未来を担う子どもたちの育ちを支え、誰もが住み続けたいと思える松戸市をつくるため、これからも全力で取り組んでまいりたいと思います。 よろしくお願い申し上げます。 以上で、会派を代表しての賛成討論といたします。 ありがとうございました。
--	---